

大型吸収冷温水機 冷房イン点検表

機種名・SUW-J100K

製造No.・81354528

1. 外観検査

本体外観(パネルを含む)の損傷有無
 部品関係の損傷有無
 各計器類及び配管
 制御盤(内外面)
 各ポンプ類
 各弁類
 視窓
 各配線及び接続部
 バーナ本体
 各制御弁
 燃料配管
 パラジウムセル

2. 付帯設備の確認

水張り、水抜きの確認

3. 真空度の確認(停止中)

胴内圧力(抽気前) hPa
 mmHg
 周囲温度 °C
 抽気ポンプの到達圧力 hPa
 mmHg

胴内総気泡量 CC
 H2の有無
 胴内抽気時間 分
 貯室内総気泡量 CC
 H2の有無
 貯室内抽気時間 分
 最終気泡量 分間 CC

4. 燃料配管系統、漏れテスト

油配管、外部漏れ

5. 電気系統の確認

絶縁抵抗の測定・CPU基盤(TB1)の
 0・4番線を外して行う
 動力回路(R・S・T)
 吸収液ポンプ MΩ
 (インバータ制御線には印加しない)
 冷媒ポンプ MΩ
 バーナーブローア MΩ
 コントロールボックスの切替スイッチ確認

パラジウムセルヒータ加熱確認

6. 本体関係の確認

冷房切替弁・A弁(蒸気系)
 冷房切替弁・B弁(冷媒ブロー弁)
 冷房切替弁・D弁(水系連通弁)

暖房時の冷却水保管方法
 付帯設備の完了確認

大型吸収冷温水機 冷房イン点検表

機種名・SUW-J100K

製造No.・81354528

7. 燃焼関係の確認

燃焼状態の確認 種類:

	比 例	高燃焼	中間 1	中間 2	低燃焼
三 位 置		暖Hi	暖Lo	冷Hi	冷Lo
二 位 置		暖		冷	
項 目					
排ガス分析	O ₂ %				
	CO ₂ %				
	CO ppm				
	SS #*2				
ガス	ガス流量 m ³ /h				
	ガス圧力(メーター部) Pa				
	ガス圧力(メーター部) mmAq				
	ガス温度(室温) °C				
ス	実ガス流量*3 Nm ³ /h				
	供給圧力 Pa				
	供給圧力 mmAq				
	メインスバル圧力 Pa				
燃	メインスバル圧力 mmAq				
	パイロット圧力 Pa				
	パイロット圧力 mmAq				
	パイロットフレーム電流 μA				
油	メインフレーム電流 μA				
	油消費量 Lit./h				
	油吐出圧 Mpa				
	油吐出圧 kg/cm ² G				
焚	CdS抵抗 kΩ				
	制御弁開度(盤表示)				
	*1 制御弁開度(目盛)				
	*1 空気ダンプ開度(目盛)				
共通	バーナー風圧 Pa				
	バーナー風圧 mmAq				
	背圧(ドラフト) Pa				
	背圧(ドラフト) mmAq				

*1 ガス焚比例で暖房最大にての使用時は、中間1を冷房 100%とする。

*2 ガス焚も測定する。

*3 計算式

$$\text{Nm}^3/\text{h} = \frac{10332 + \text{ガス圧力 (mmAq)}}{10332} \times \frac{273}{273 + \text{ガス温度}}$$

$$\text{Nm}^3/\text{h} = \frac{101325 + \text{ガス圧力 (Pa)}}{101325} \times \frac{273}{273 + \text{ガス温度}}$$

$$1\text{kg/cm}^2 = 760\text{mmHg} = 10\text{mAq} = 10000\text{mmAq} = 98000\text{Pa} = 980\text{hPa} = 98\text{kPa} = 0.098\text{MPa}$$

炎検出器の動作試験(3回実施)

1 2 3

メイン点火試験、油バーナ着火試験

メインバーナの着火

炉内清掃実施日

大型吸収冷温水機 冷房イン点検表

機種名・SUW-J100K

製造No.・81354528

8. 起動・停止動作の確認

付帯設備の起動・停止

燃焼動作

吸収液ポンプの動作(インバーター・液面リレー)

冷媒ポンプの動作

稀釈停止動作

9. 安全停止回路確認

冷温水フロースイッチ動作

冷温水ポンプインターロック異常動作

冷却水ポンプインターロック異常動作

設備インターロック異常動作

高温再生器圧力高異常動作

不着火異常動作

冷媒ポンプ異常動作

バーナプロア異常動作

感震装置動作

10. 運転時間・発停回数(作業終了後)

	項 目		データ
運 転 時 間	冷温水機	0	Hr
	吸収液ポンプ	1	Hr
	燃焼	2	Hr
	冷媒ポンプ	3	Hr
発 停 回 数	冷温水機	4	回
	吸収液ポンプ	5	回
	燃焼	6	回
	冷媒ポンプ	7	回
	冷水温度設定	8	℃
	温水温度設定	9	℃
	冷却塔ファン発停温度	30	℃
	冷却塔ファンDIFF	31	℃

11. ユニット型 水頭損失の測定

冷温水流量(水頭損失)の確認・調整

入口圧力 kpa

mAq

出口圧力 kpa

mAq

入口圧力－出口圧力＝差圧

kpa

mAq

冷却水流量(水頭損失)の確認・調整

入口圧力 kpa

mAq

出口圧力 kpa

mAq

入口圧力－出口圧力＝差圧

kpa

mAq

12. 定期点検項目

炉内点検

13. 作業完了後の確認

各弁ロックタイト塗布確認

清掃状況 制御盤内

本体周囲

残作業の記録(特記事項欄へ)

14. 分析用吸収液のサンプリング(C-IN)

15. 総合判定

総合評価

16. 特記事項、定期交換部品、残作業

大型吸収冷温水機 冷房イン点検表

機種名・SUW-J100K

製造No.・81354528

運転データ

項 目	単位					
外気温度	℃					
冷温水入口温度	℃					
冷温水出口温度	℃					
冷却水入口温度	℃					
冷却水出口温度	℃					
冷温水水頭損失	kPa					
冷温水水頭損失	mAq					
冷却水水頭損失	kPa					
冷却水水頭損失	mAq					
再生器温度	℃					
稀液温度	℃					
凝縮器出口温度	℃					
再生圧力	cmHg					
再生圧力	Mpa					
排ガス温度	℃					
インバータ周波数	Hz					
制御弁開度	%					
吸収液ポンプ圧力	kg/cm ² G					
吸収液ポンプ圧力	kPa					
吸収液ポンプ電流	A					
冷媒ポンプ電流	A					
バーナブローア電流	A					
濃度(温度)	℃					
(比重)						
(濃度)	%					
稀液(温度)	℃					
(比重)						
(濃度)	%					
高温再生器(温度)	℃					
(比重)						
(濃度)	%					
冷媒比重						
* L T D	℃					
稀液温度－冷却水入口温度	℃					
稀液ダンパ開度	度					
中間液ダンパ開度	度					

* L T D = 凝縮器出口温度－冷却水出口温度

大型吸収冷温水機 冷房オン点検表

機種名・SUW-J100K

製造No.・81354528

1. 外観検査

本体外観(パネルを含む)の損傷有無
部品関係の損傷有無
各計器類及び配管
制御盤(内外面)
各ポンプ類
各弁類
視窓
各配線及び接続部
バーナ本体
各制御弁
燃料配管
パラジウムセル

2. 真空度の確認(停止中・運転中、 暖房運転中不可)

胴内圧力(抽気前) hPa
mmHg
周囲温度 ℃
抽気ポンプの到達圧力 hPa
mmHg
胴内総気泡量 CC
H2の有無
胴内抽気時間 分
貯室内総気泡量 CC
H2の有無
貯室内抽気時間 分
最終気泡量 分間 CC

3. 燃料配管系統、漏れ確認

油配管、外部漏れ

4. 燃焼状態の確認

リンクのマーキング

燃焼状態の確認 種類:

比	例	高燃焼	中間 1	中間 2	低燃焼
三 位 置		暖Hi	暖Lo	冷Hi	冷Lo
二 位 置		暖		冷	
項 目					
排ガス分析	O2 %				
	CO2 %				
	CO ppm				
	SS #*2				
ガス流量	m3/h				
ガス圧力(メーター部)	Pa				
ガス圧力(メーター部)	mmAq				
ガス温度(室温)	℃				
実ガス流量*4	Nm3/h				
供給圧力	Pa				
供給圧力	mmAq				
メインスル圧力	Pa				
メインスル圧力	mmAq				
パイロット圧力	Pa				
パイロット圧力	mmAq				
パイロットフレーム電流	μA				
メインフレーム電流	μA				
油消費量	Lit./h				
油吐出圧	Mpa				
油吐出圧	kg/cm2G				
CdS抵抗	kΩ				
制御弁開度(盤表示)					
*1 制御弁開度(目盛)					
*1 空気ダンパ開度(目盛)					
共通	バーナー風圧 Pa				
	バーナー風圧 mmAq				
	背圧(ドラフト) Pa				
	背圧(ドラフト) mmAq				

*1 ガス焚比例で暖房最大にての使用時は、中間1を冷房100%とする。

*2 ガス焚も測定する。

*3 油焚も測定する。

*4 計算式

$$\text{Nm3/h} = \frac{10332 + \text{ガス圧力 (mmAq)}}{10332} \times \frac{273}{273 + \text{ガス温度}}$$

$$\text{Nm3/h} = \frac{101325 + \text{ガス圧力 (Pa)}}{101325} \times \frac{273}{273 + \text{ガス温度}}$$

$$1\text{kg/cm2}=760\text{mmHg}=10\text{mAq}=10000\text{mmAq}=98000\text{Pa}=980\text{hPa}=98\text{kPa}=0.098\text{MPa}$$

大型吸収冷温水機 冷房オン点検表

機種名・SUW-J100K

製造No.・81354528

5. 運転時間・発停回数(作業終了後)

	項 目		データ
運	冷温水機	0	Hr
転	吸収液ポンプ	1	Hr
時	燃焼	2	Hr
間	冷媒ポンプ	3	Hr
発	冷温水機	4	回
停	吸収液ポンプ	5	回
回	燃焼	6	回
数	冷媒ポンプ	7	回
	冷水温度設定	8	℃
	温水温度設定	9	℃
	冷却塔ファン発停温度	30	℃
	冷却塔ファンDIFF	31	℃

10. 特記事項、定期交換部品、残作業

6. ユニット型 付帯設備の点検

冷温水系の点検

冷温水ポンプの異常音、水漏れ、
エアークみの有無

冷却水系の点検

冷却水ポンプの異常音、水漏れ、
エアークみの有無

冷却塔の点検

異常音、水槽の汚れ詰りの有無

7. 分析用吸収液サンプリング

8. 作業完了後の確認

各弁ロックタイト塗布確認

清掃状況 制御盤内

本体周囲

9. 総合判定

総合評価

* L T D = 凝縮器出口溫度 - 冷却水出口溫度

大型吸収冷温水機 暖房イン点検表

機種名・SUW-J100K

製造No.・81354528

1. 外観検査

本体外観(パネルを含む)の損傷有無
 部品関係の損傷有無
 各計器類及び配管
 制御盤(内外面)
 各ポンプ類
 各弁類

各配線及び接続部
 バーナ本体
 各制御弁
 燃料配管
 パラジウムセル

2. 付帯設備の確認

水張り、水抜きの確認

3. 真空度の確認(停止中)

胴内圧力(抽気前) hPa
 mmHg
 周囲温度 ℃
 抽気ポンプの到達圧力 hPa
 mmHg

胴内総気泡量 CC
 H₂の有無
 胴内抽気時間 分
 貯室内総気泡量 CC
 H₂の有無
 貯室内抽気時間 分
 最終気泡量 分間 CC

4. 燃料配管系統、漏れテスト

油配管、外部漏れ

5. 電気系統の確認

絶縁抵抗の測定・CPU基盤(TB1)の
 0・4番線を外して行う

動力回路(R・S・T)

吸収液ポンプ MΩ

(インバータ制御線には印加しない)

冷媒ポンプ MΩ

バーナーブロー MΩ

コントロールボックスの切替スイッチ確認

パラジウムセルヒータ加熱確認

6. 本体関係の確認

冷房切替弁・A弁(蒸気系)

冷房切替弁・B弁(冷媒ブロー弁)

冷房切替弁・D弁(水系連通弁)

暖房時の冷却水保管方法

付帯設備の完了確認

大型吸収冷温水機 暖房イン点検表

機種名・SUW-J100K

製造No.・81354528

7. 燃焼関係の確認

燃焼状態の確認 種類:

比	例	高燃焼	中間 1	中間 2	低燃焼
三	位	暖Hi	暖Lo	冷Hi	冷Lo
二	位	暖		冷	
項	目				
排	O ₂	%			
ガ	CO ₂	%			
ス	CO	ppm			
分	SS #*2				
析	ガス流量	m ³ /h			
ガ	ガス圧力(メーター部)	Pa			
	ガス圧力(メーター部)	mmAq			
	ガス温度(室温)	℃			
ス	実ガス流量*3	Nm ³ /h			
	供給圧力	Pa			
	供給圧力	mmAq			
燃	メインスル圧力	Pa			
	メインスル圧力	mmAq			
	パイロット圧力	Pa			
	パイロット圧力	mmAq			
	パイロットフレーム電流	μA			
	メインフレーム電流	μA			
油	油消費量	Lit./h			
焚	油吐出圧	Mpa			
	油吐出圧	kg/cm ² G			
	CdS抵抗	kΩ			
	制御弁開度(盤表示)				
*1	制御弁開度(目盛)				
*1	空気ダンプ開度(目盛)				
共	バーナー風圧	Pa			
通	バーナー風圧	mmAq			
	背圧(ドラフト)	Pa			
	背圧(ドラフト)	mmAq			

*1 ガス焚比例で暖房最大にての使用時は、中間1を
冷房100%とする。

*2 ガス焚も測定する。

*3 計算式

$$\text{Nm}^3/\text{h} = \frac{10332 + \text{ガス圧力 (mmAq)}}{10332} \times \frac{273}{273 + \text{ガス温度}}$$

$$\text{Nm}^3/\text{h} = \frac{101325 + \text{ガス圧力 (Pa)}}{101325} \times \frac{273}{273 + \text{ガス温度}}$$

$$1\text{kg/cm}^2 = 760\text{mmHg} = 10\text{mmAq} = 10000\text{mmAq} = 98000\text{Pa} \\ = 980\text{hPa} = 98\text{kPa} = 0.098\text{MPa}$$

炎検出器の動作試験(3回実施)

1 2 3

メイン点火試験、油バーナ着火試験

メインバーナの着火

炉内清掃実施日

大型吸収冷温水機 暖房イン点検表

機種名・ SUW-J100K

製造No.・ 81354528

8. 起動・停止動作の確認
付帯設備の起動・停止
燃焼動作
吸収液ポンプの動作(インバーター・液面リレー)
稀釈停止動作

9. 安全停止回路確認
冷温水フロースイッチ動作
冷温水ポンプインターロック異常動作
高温再生器圧力高異常動作
不着火異常動作
バーナブロー異常動作
感震装置動作

10. 運転時間・発停回数(作業終了後)

	項 目		データ
運	冷温水機	0	Hr
転	吸収液ポンプ	1	Hr
時	燃焼	2	Hr
間	冷媒ポンプ	3	Hr
発	冷温水機	4	回
停	吸収液ポンプ	5	回
回	燃焼	6	回
数	冷媒ポンプ	7	回
	冷水温度設定	8	℃
	温水温度設定	9	℃

11. ユニット型 水頭損失の測定
冷温水流量(水頭損失)の確認・調整
入口圧力 kpa
mAg
出口圧力 kpa
mAg
入口圧力ー出口圧力=差圧
kpa
mAg

12. 定期点検項目
冷却水系内部点検(暖房イン)
炉内点検

13. 作業完了後の確認
各弁ロックタイト塗布確認
清掃状況 制御盤内
本体周囲

14. 分析用吸収液のサンプリング(C-IN)

15. 総合判定
総合評価

16. 特記事項、定期交換部品、残作業

大型吸収冷温水機 暖房イン点検表

機種名・SUW-J100K

製造No.・81354528

運転データ

項 目	単位					
外気温度	℃					
冷温水入口温度	℃					
冷温水出口温度	℃					
冷却水入口温度	℃					
冷却水出口温度	℃					
冷温水水頭損失	kPa					
冷温水水頭損失	mAq					
冷却水水頭損失	kPa					
冷却水水頭損失	mAq					
再生器温度	℃					
稀液温度	℃					
凝縮器出口温度	℃					
再生圧力	cmHg					
再生圧力	Mpa					
排ガス温度	℃					
インバータ周波数	Hz					
制御弁開度	%					
吸収液ポンプ圧力	kg/cm2G					
吸収液ポンプ圧力	kPa					
吸収液ポンプ電流	A					
冷媒ポンプ電流	A					
バーナブローアー電流	A					
濃度(温度)	℃					
(比重)						
(濃度)	%					
稀液(温度)	℃					
(比重)						
(濃度)	%					
高温再生器(温度)	℃					
(比重)						
(濃度)	%					
冷媒比重						
* L T D	℃					
稀液温度－冷却水入口温度	℃					
稀液ダンパ開度	度					
中間液ダンパ開度	度					

* L T D = 凝縮器出口温度－冷却水出口温度

大型吸収冷温水機 暖房オン点検表

機種名・SUW-J100K

製造No.・81354528

1. 外観検査

本体外観(パネルを含む)の損傷有無
 部品関係の損傷有無
 各計器類及び配管
 制御盤(内外面)
 各ポンプ類
 各弁類

各配線及び接続部
 バーナ本体
 各制御弁
 燃料配管
 パラジウムセル

2. 真空度の確認(停止中・運転中、 暖房運転中不可)

胴内圧力(抽気前) hPa
 mmHg
 周囲温度 °C

3. 燃料配管系統、漏れ確認

油配管、外部漏れ

4. 燃焼状態の確認

燃焼状態の確認 種類:

比 例	高燃焼	中間 1	中間 2	低燃焼
三 位 置	暖Hi	暖Lo	冷Hi	冷Lo
二 位 置	暖		冷	
項 目				
排ガス分析				
O ₂ %				
CO ₂ %				
CO ppm				
SS #*2				
ガス流量 m ³ /h				
ガス圧力(メーター部) Pa				
ガス圧力(メーター部) mmAq				
ガス温度(室温) °C				
実ガス流量*4 Nm ³ /h				
供給圧力 Pa				
供給圧力 mmAq				
メインスラム圧力 Pa				
メインスラム圧力 mmAq				
パイロット圧力 Pa				
パイロット圧力 mmAq				
パイロットフレーム電流 μA				
メインフレーム電流 μA				
油 油消費量 Lit./h				
油 油吐出圧 Mpa				
油 油吐出圧 kg/cm ² G				
CdS抵抗 kΩ				
制御弁開度(盤表示)				
*1 制御弁開度(目盛)				
*1 空気ダンプ開度(目盛)				
共通 バルナー風圧 Pa				
バルナー風圧 mmAq				
背圧(ドラフト) Pa				
背圧(ドラフト) mmAq				

*1 ガス焚比例で暖房最大にての使用時は、中間1を
 冷房100%とする。

*2 ガス焚も測定する。

*3 油焚も測定する。

*4 計算式

$$\text{Nm}^3/\text{h} = \frac{10332 + \text{ガス圧力 (mmAq)}}{10332} \times \frac{273}{273 + \text{ガス温度}}$$

$$\text{Nm}^3/\text{h} = \frac{101325 + \text{ガス圧力 (Pa)}}{101325} \times \frac{273}{273 + \text{ガス温度}}$$

$$1\text{kg/cm}^2 = 760\text{mmHg} = 10\text{mAq} = 10000\text{mmAq} = 98000\text{Pa} = 980\text{hPa} = 98\text{kPa} = 0.098\text{MPa}$$

大型吸収冷温水機 暖房オン点検表

機種名・SUW-J100K

製造No.・81354528

5. 運転時間・発停回数(作業終了後)

	項 目		デ ー タ
運	冷温水機	0	Hr
転	吸収液ポンプ	1	Hr
時	燃 焼	2	Hr
間	冷媒ポンプ	3	Hr
発	冷温水機	4	回
停	吸収液ポンプ	5	回
回	燃 焼	6	回
数	冷媒ポンプ	7	回
	冷水温度設定	8	℃
	温水温度設定	9	℃
	冷却塔ファン発停温度	30	℃
	冷却塔ファンDIFF	31	℃

6. ユニット型 付帯設備の点検

冷温水系の点検

冷温水ポンプの異常音、水漏れ、
エア-かみの有無

8. 作業完了後の確認

清掃状況 制御盤内
本体周囲

9. 総合判定

総合評価

10. 特記事項、定期交換部品、残作業

ブラシ洗浄作業報告書

機種名・SUW-J100K

製造No.・81354528

1. 洗浄範囲 冷却水系統 冷温水系統 2. 汚れ程度（スライム） 3. スケール程度 4. 腐蝕程度 5. 洗浄結果 6. 現在の水処理方法 7. 今後の水処理方法 8. 次回洗浄方法		9. 交換部品及び部品の確認 パッキン ボルトナット 仕切板の状態 その他 10. 排水処理法 PH 11. その他	
--	--	--	--

空調設備機器点検報告書

機種名・関連機器

製造No.・

ポンプの区分						
ポンプの系統または号機						
ポンプの型式・メーカー						
(1) 外観検査 本体・部品等 腐蝕の有無 基礎・架台 異常の有無 塗装・断熱の状態の良否 配管類支持の良否 防振装置等 異常の有無 (2) 電気系統の確認 絶縁抵抗測定 (3) ポンプの状況確認 軸封部 異常の有無 軸封部 漏洩の有無 (4) 伝動部の確認 カップリング部 異音の有無 連結状態の良否 (5) 計器類の確認 圧力計・温度計の良否 (6) バルブ類の確認 止弁の状態 配管ストレーナーの詰まり・整備 (7) 運転確認 異音・異常振動の有無 回転方向の確認 電源電圧の確認 運転電流確認 ポンプ吸込圧確認 ポンプ吐出圧確認 (8) 排水系統の確認 ドレン通水 整備（清掃） (9) 作業後の確認 スイッチ設定の確認 各弁類の切替え確認	MΩ		MΩ		MΩ	
	V		V		V	
	A		A		A	
総合判定	特記事項					

空調設備機器点検報告書

機種名・関連機器

製造No.・

ポンプの区分						
ポンプの系統または号機						
ポンプの型式・メーカー						
(1) 外観検査 本体・部品等 腐蝕の有無 基礎・架台 異常の有無 塗装・断熱の状態の良否 配管類支持の良否 防振装置等 異常の有無 (2) 電気系統の確認 絶縁抵抗測定 (3) ポンプの状況確認 軸封部 異常の有無 軸封部 漏洩の有無 (4) 伝動部の確認 カップリング部 異音の有無 連結状態の良否 (5) 計器類の確認 圧力計・温度計の良否 (6) バルブ類の確認 止弁の状態 配管ストレーナーの詰まり・整備 (7) 運転確認 異音・異常振動の有無 回転方向の確認 電源電圧の確認 運転電流確認 ボンプ吐出圧確認 (8) 排水系統の確認 ドレン通水 整備（清掃） (9) 作業後の確認 スイッチ設定の確認 各弁類の切替え確認	MΩ		MΩ		MΩ	
	V		V		V	
	A		A		A	
総合判定	特記事項					

良好・・・○ 不良・・・× 整備後良好・・・⊗ 作業完了・・・✓ 対象外・・・— 見做し良好・・・◎ 注記・・・▲▲▲